

編集後記

義肢に血が通うまでという有名な言葉がある一方で、知覚の feed back のない義肢の欠点が叫ばれ、患肢温存手術 limb salvaging surgery は確実に増加している。そして切断そのものが世界的に見ても減少の方向に向っているように見える。

しかしそれにも拘らず切断の止むなきに到る疾患は皆無となっていない。なるほど腫瘍などについては患肢温存の傾向は昨今の話題となっているが、逆に末梢循環障害性疾患による切断、ことに両下肢切断も稀ではない。

本誌が義足の特集として採り上げたが、この方面の臨床研究が決して停滞しているのではないことをも示したかったからである。股義足は武智秀夫氏らがカナダ式を中心に詳述し、義足材料については川村次郎氏らが軽量材質、主として強化プラスチック、複合材料などについて記述した。

明石謙氏はソケットのひずみと応力解析を反射性光弾性実験より検討し耐久性を得るための工夫を示唆した。欧米、アジア

の義足の事情について初山泰弘氏、大川嗣雄氏らが触れた。今回の ISPO には編集子も出席したが CAD/CAM はかなりの話題になっていた。

また走れる義足 Terry-Fox running prosthesis には興味が集まったものと思う。

一般研究論文では Seating Clinic の開設で hemi, CP, PMD などの治療に努力する里宇明元氏らの仕事、脳卒中患者の 51 名の予後追跡を行った助川末枝保氏らの問題提起など力作が目立った。症例報告が鈴木邦彦氏らによって出されているが例のごとく二木式のきちんとしたわかり易い書き方である。講座 歩行も麻痺性構音障害と嚥下障害もそれぞれ(2)と好調である。

なお研究と報告、症例報告はどんどん submit していただいて結構であり、編集子が多少の文句をつけてもそれを乗り越えて無事印刷された文として出て来てほしいものとお願いを申し上げる次第です。

(大井 淑雄)

編集顧問

天 児 民 和
大 島 良 雄
河 邨 文 一 郎
五 味 重 春
砂 原 茂 一
津 山 直 一
土 屋 弘 吉

編集委員

明 石 謙
上 田 敏
緒 方 甫
大 井 淑 雄
大 川 嗣 雄
千 野 直 一
横 山 巖

編集同人

赤 津 隆
今 田 拓
今 村 哲 夫
岩 倉 博 光
江 口 壽 榮 夫
小 川 孟
荻 川 秀 男
奥 川 幸 子
加 倉 井 周 一
小 島 蓉 子
斉 藤 正 也
笹 沼 澄 子
澤 村 誠 志
高 橋 勇
高 松 鶴 吉
武 智 秀 夫
土 屋 和 夫
土 肥 豊
永 井 昌 夫
中 村 隆 一
野 島 元 雄
野 村 歆
長 谷 川 恒 雄
初 山 泰 弘
福 井 園 彦
松 村 秩
三 島 博 信
矢 谷 令 子
米 本 恭 三
渡 辺 英 夫
(五十音順)

総合リハビリテーション (第15巻 第2号)

1987年 2月10日発行 (毎月1回10日発行)

1部定価 1,650円 (配送料60円)

(年ぎめ予約購読料 21,560円)
(但し、増大号を含む)
(送料弊社負担)

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 椿 孝 雄

〒 113-91 東京都文京区本郷5-24-3

電話 受付台 (03) 817-5600

本誌編集室直通 (03) 817-5704

(担当: 山田・細田)

販売部直通 (03) 817-5659・5660

ファクシミリ (03) 815-7802

振替口座 東京 7-96693番

印刷所 三報社印刷(株): 電話 (03) 637-0005

広告申込所 (株)東広社: 電話 (03) 409-8803

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku Tokyo © 1987, Printed in Japan.
本誌の内容を無断で複写・複製・転載すると、著作権・出版権の侵害となることがありますので御注意下さい。